事業所名グループホームゆいの里

作成日 ： 平成21年12月30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況（任意）
1	16	排泄支援、暑い日の紙パンツ使用について	自立に向けての支援（布パンツ使用）	本人の気持ちを確認し、布パンツをはいていただく。 個人個人の排泄パターンを把握し、声かけ誘導によりトイレでの排泄介助を行う。	2　か月	家族に相談し布パンツを持ってきていただき本人さんの了解を得て対応しました。力を入れて起立、歩行しておられ常に紙パンツの方が衛生的と思われたので本人の了解、家族に説明し了解を得中止する。(3日間対応)
2	12	重度化や終末期に向けて、事業者としてできる事についての説明のしかた	入居契約時に説明資料として、重度化や終末期に向けてのわかりやすい書類を作成し、家族の意向及び協力体制の確認をする。	運営推進会議やグループホームゆいの家との合同ミーティングにおいて終末期ケアの対応を話し合い、協力医･家族･ホームの協力合意の下、終末期に向けての対応を行う。 ただし、食事摂取不可能となった場合や常に医療が必要となった場合は、ご家族と再度話し合い今後の意向を伺い対応する。	3　か月	運営推進会議での委員さんのご意見を頂く。日頃から、利用者の身体状況をお伝えしご家族の理解を得、里として出来ることをお伝えしている。
3					か月	
4					か月	
5					か月	